

七小校長室便り

開校51年目 国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.6 令和5年(2023年)12月6日

11月21日(火) 体育館に、子供たちの笑顔がはじけました！！

オータムフェスティバルを終えた振替休業日明けの11月21日の火曜日、以前からお知らせしていた「笑顔寄席」を行いました。子供たちには、出演者の名前を伝えない形のサプライズ公演としていましたので、喜んでくれるかなと私もドキドキしながら、本番の日を迎えました。

ここで改めて出演者の紹介をさせていただきます。既に、子供たちから聞いていらっしやるかもしれない。

司会 林家 まる子(はやしや まるこ)さん



林家三平一門の噺家さんであり、司会やレポーターとしても活躍されています。

今回の笑顔寄席のプロデューサーです。

私の友人の一人でもあります。

たくさんの芸人の方と繋がりながら、各地域の学校で笑顔寄席を開催できるように頑張ってもらっています。

これから私も、応援していきたいと思っています。

来年度も来てほしいと思っています。

一番手 翁家 勝丸(おきなや かつまる)



江戸太神楽の曲芸師です。

1998年より、師匠・翁家勝之助と共に寄席、演芸場に出演しています。

お年寄りからお子様まで楽しめる芸だとの評判です。

まる子さんとは、ごきょうだいです。

数少ない江戸太神楽曲芸師の若手伝承後継者として期待を集めている方です。

二番手 柳家 勸之助(やなぎや かのすけ)さん



都内の寄席を中心に活動されています。

また自身の独演会を全国で開催されています。

初めて落語を聴く人にも分かりやすく、子どもからご年配の方にまで楽しんでもらえる講座を務められています。

今回の演目は、「寿限無」。

図書の時間や図書室で読んだことがあるなど、多くの子供たちが知っていることもあり、大きな声で笑う姿が印象的でした。

三番手 本名 陽子(ほんな ようこ)さん



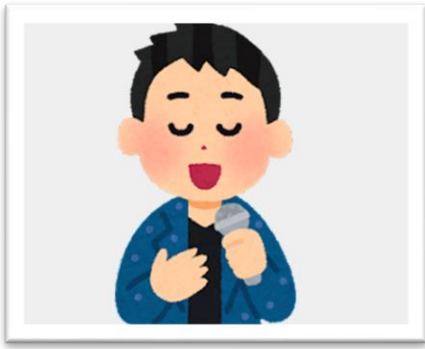
4歳の頃から中学卒業まで子役として、たくさんのドラマ、映画、舞台、CMなどに出演されています。

声優デビューは中学1年の時で、スタジオジブリ「おもひでぽろぽろ」の岡島タエ子役、そして、同じくスタジオジブリ「耳をすませば」で主人公の月島雫役を演じました。

主題歌「カントリー・ロード」での美しい歌声は、今も聴いている皆さんに勇気と希望を与えています。

本名さんとも合唱団のつながりで友人の一人です。

四番手 歌のお兄さん



お名前については、子供たちから既にお聞きになっていること
と思います。

林家まる子さんから、今回の笑顔寄席について、お知らせいた
だいたときに、「七小に、是非行きましょう」と言ってくれたの
が彼だったそうです。

今回の七小の演目においては、本当に特別な内容で、この後の
5番手、大トリの方々と彼と一緒に出る内容は行われていない
ようです。

こんなに多くの演目と出演者の方に出ていただいたのは、今回
が特別なもので、彼とまる子さんのお陰でもあります。

本当は、お名前をここに記したいのですが、Web 検索をかけられたときに、今回のことをたくさん
の方がご覧になって問い合わせされることで、ご本人に迷惑になることもあるため、ご容赦くださ
いませ。でも、涙が出るほど、嬉しい再会であり、私の生涯の宝物となりました。

五番手 山上兄弟（やまがみ きょうだい）さん



2001年にデビューして以来、カリスマ小学生と紹介され、
小学生のマジックブームの引き金となりました。

ギネス認定の世界最年少マジシャンでもあります。

現在も、日本が世界に誇るイリュージョニストの兄弟として、
テレビやCMの他、世界大会・劇場お芝居・ディナーショー・
イベントなどで活躍されています。

一つ一つのマジックに、子供たちは驚きの声をあげたり、拍手
をしたりと、目の前で起こっている不思議な瞬間を食い入るよ
うに見ていました。二人とも素敵な好青年でした。

合言葉は「てじな～にゃ!」

大トリ テツandトモ（てつ あんど とも）さん



2003年に、新語・流行語大賞 年間大賞「なんでだろう～」
で受賞されていることは、ご存じの方も多いと思います。

赤いジャージのテツさんが踊り、目の前で両掌を立てて回転
しているところに、青いジャージのトモさんがギターの弾き
語り風に「なんでだろ～」を歌い上げるスタイルは、誰もが
知っているものです。

今回は、七小における何気ない疑問について、トモさんがネ
タふりをして、テツさんがパフォーマンスでそれに応える
といういつものスタイルで、子供たちを楽しませてくれました。

実は、出演者の皆さんには、子供たちに前もって誰が来るか

を話していないことは伝えておりませんでした。

控室にて、お二人に、子供たちに伝えていないことをお話すると、「大丈夫ですか～?!みんな
知っているかなあ。」と心配げな表情がありました。もちろん、本番は、そんな心配はありません
でした。大盛り上がりで、本当に大成功の笑顔寄席のトリを飾っていただきました。

【校長のつぶやき】 今回の笑顔寄席は、昨年度の開校50周年の式典の取組として、歌のお兄
さんに関わってもらおうという、私の思い付きから始まりました。開校式典
当日と児童集会に、それぞれに応じたメッセージと歌のプレゼントが添えられていて、本当に周年
を祝賀するムードを盛り立てていただきました。

そして、今回、思いもよらない「笑顔寄席」の開催と、活躍している合唱団の教え子と一緒に、
学校という教育現場において、一緒に取り組むことができたことは、教師冥利に尽きます。子供
たちの成長は、教員という仕事の醍醐味です。教えた人たち全員が活躍できるわけではありません
が、それぞれがそれぞれの人生を懸命に歩んでくれたなら、それぞれの人生に少しでも関わら
れた者として、こんな嬉しいことはありません。七小の子供たちにも同じ思いで関わっています。

